

自費出版専門工房
ことこと舎

Press Release

page 1



自費出版専門工房「ことこと舎」 出版事例のご紹介

京都の伝統工芸 唐紙の老舗「唐長」11代女将 千田郁子氏の自分史「唐長 IKUKO」ほか

1962年の創業以来50余年、印刷業を主としながらも時代にあわせ進化し続ける、株式会社文伸(本社:東京都三鷹市、代表取締役社長:川井信良)は、自社工場における一貫体制と確かな技術を活かし丁寧な対応と適正価格で自費出版に特化したブランド、自費出版専門工房「ことこと舎」を2015年9月に発表いたしました。

その後、他社と差別化をはかるきめ細やかな対応にご好評をいただき、自分の証を残したいというお客様のお気持ちを大切に本づくりを進めております。この度は自分史、翻訳本、エッセイ、絵本の具体的な事例をご案内させていただきます。

出版事例紹介

①自分史「唐長 IKUKO」

京都に400年続く唐紙の老舗「唐長」11代女将、千田郁子氏のご自身の人生を綴った自分史。夫の11代 千田堅吉氏が一枚一枚手摺りしたという美しい本物の唐紙を挟み込んだ貴重な限定本です。



第1章「IKUKO」では、11代堅吉氏との出会いから唐長ブランドの設立。第2章「きもの愛」第3章「アンティーク熱」では、大好きなものに夢中になることで人生を豊かにしていくこと。第4章「唐紙をめぐること」では多くの人に支えられた感謝の気持ちと唐紙に対する愛情、そして「唐長 IKUKO」ブランドの未来を綴っています。

制作経緯:千田郁子氏の夫、唐長11代千田堅吉氏のご長男に暖簾を譲られたことと、ご夫婦が金婚式を迎えるタイミングだったことがきっかけ。これから夫婦で楽しむ日々を迎えられる境遇に感謝する中で、郁子氏のご自身のこれまでを本にして残したいという思いで制作。

サイズ: A5 版変形(天地190×左右148mm) / 144ページ 印刷:高精細印刷
仕様:上製本(表紙は空押し地の紋に、タイトル&著者名は箔押し加工、ヴァンヌーボ紙使用)
冊数: 800冊
販売価格: 2,500円+税

自費出版専門工房
ことこと舎

Press Release

page 2



②翻訳本「ロビンとロビン・フッド」

海外の文学作品の中には日本語に翻訳されていないものが多くあります。新聞記者の水口博毅氏が自費出版での翻訳分野開拓に挑戦したこちらは、本邦初の翻訳本として出版されました。

サイズ：B6変型判(天地183×左右105mm)
128ページ
印刷：オフセット印刷
製本：ソフトカバー 小口折り製本
価格：700円+税



③エッセイ「女ひとり古希に家を建てる」

都心から長野の原村に移住したフリーアナウンサーの小林節子氏が、個性豊かな人たちと過ごす充実した日々を一冊の本にまとめたもの。飾らない等身大の想いが伝わります。

サイズ：四六判(天地188×左右128mm)
180ページ
印刷：オフセット印刷
製本：ソフトカバー
価格：2,000円+税



④絵本「ドロネコゴロモン」1巻/2巻

しぶやひろみ氏が描きためていた絵本の原画や童話を人に読んでもらったところ好評で、それらを本の形にして残したいとの思いで出版。売り上げの一部は被災障がい者支援団体に寄附されます。

サイズ：A4変型判(天地280×左右250mm)
32ページ
印刷：オフセット印刷
製本：中ミシン上製本
価格：各1,200円+税



本のご購入方法

HP問い合わせフォーム(<http://kotokotosya.jp/>)、メール(hon@kotokotosya.jp)、電話 ☎0800-800-7651、FAX0422-60-2200にてお申し込みいただけます。その際、お客さまのご連絡先(ご住所・お名前・電話番号・FAX番号・メールアドレス)とご希望冊数をお知らせください。

お願い・・・お支払いは同封の請求書にて銀行口座への振込、または郵便振替払込取扱票でお願いいたします。(本の送料は当方が負担いたしますが、振込手数料はお客さまにご負担いただきますのでご了承ください)

自費出版専門工房
ことこと舎

Press Release

page 3



制作について

主な制作の手順

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. お問い合わせ | 5. 原稿整理 | 9. 印刷・製本 |
| 2. 打ち合わせ | 6. 組み見本完成 | 10. 納品・販売 |
| 3. 原稿執筆 | 7. 編集・校正作業 | |
| 4. 造本設計 | 8. デザイン | |

価格の参考例

予算はお客さまがどんな本をお望みなのかによって様々です。
下記は、自分史を例にした参考価格です。

「自分史」の場合の標準価格

<仕様> 四六判(天地188×左右128mm)、ソフトカバー(pp加工含む)、無線綴じ製本、見返し、別丁扉、本文・表紙1色印刷、カバー4色印刷

原稿がある場合

お客様ご自身が書いた原稿をプロの編集者が確認・アドバイスし、お客さまと一緒に本づくりをします。

例)

160頁前後 50部 50万円～

160頁前後 200部 60万円～

聞き書きの場合

プロのライターが丁寧に聞き取りして原稿をつくり、お客さまに確認をしていただきながら本づくりをします。

例)

80頁前後 50部 70万円～

80頁前後 200部 80万円～

*価格はケースバイケースです。原稿が手書きかデータか、写真がプリントかデジタルデータかはもちろん、紙の種類、部数など様々な要素で違ってきます。一般的な入稿スタイルでの概算価格ですので、ご了承ください。

ことこと舎は、「本には人生を豊かにする力がある」という原点に立ち戻り、作り手の生きている証をカタチにするだけでなく、読み手の人生をも豊かにする「本づくり」の魅力を信じ、自費出版業界全体の活性化に寄与できるよう邁進してまいります。

●会社に関するお問い合わせ先

株式会社文伸/ことこと舎編集部 担当：稲富能恵(いなとみのえ)

〒181-0012 東京都三鷹市上連雀1-12-17

TEL：0422-60-1555 Mobile：090-1611-5139 Mail：inatomi@kotokotosya.jp

HP：http://kotokotosya.jp

●取材に関するお問い合わせ先

株式会社SUZU PR COMPANY 担当：鈴江恵子

TEL：080-6390-8284 Mail：info@suzu-pr.com